

ミクマリ会議

ふくい

第1回

日時◎ 2009年 3月 22日(日)

13:00 ~ 開場

13:30 ~ 14:30 基調講演

14:40 ~ 16:30 パネルディスカッション

会場◎ 坂井地域交流センター「いねす」交流ホール

入場◎ 無料

福井県面積の約七割を占め、七市三町と岐阜県郡上市を貫く九頭竜川水系は、霊峰白山を頂とする山々に源を発し、コシヒカリのふるさと福井平野を流れながら、サクラマスを育み、日本海へと注いでいる。この大流域を舞台とした水と緑の交通は、彼方の大陸までを環内に人・モノを活発に行き交せ、豊かさを運び、独自の文化をつくりだしてきた。

ミクマリとは、水配(みくま)りー

田の神・山の神とも深いかわりを持ち、水源や分水嶺に祀れている神の名前。

いのちとくらしの源である水は、豊かさの源泉。その分配を考えることは、次世代にわたって環境を考えていくこと。

ここに今、環境×観光×歴史文化×教育をテーマとしたシンポジウムをキックオフし、九頭竜川水系における多様な活動を発表し合いながら、緩やかにつながるネットワークを形成し、これからの持続可能な流域社会を探索する。

九頭竜川流域ネットワークの
未来に向けて

